

式辞



霞ヶ浦を渡る風、真鍋台の木々に、春の訪れを感じる今日の佳き日、土浦一高を羽ばたく313名の卒業生の皆さん、卒業、おめでとう。心からお祝い申し上げます。

そして、進修同窓会会長・幡谷浩史様、PTA会長・飯田靖宏様はじめ、多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜り、ここに茨城県立土浦第一高等学校全日制課程普通科第69回卒業証書授与式を盛大に挙行できますことは、私たち教職員にとりましてもこの上ない喜びであり、教職員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

また、お子様の姿を後ろの席から、温かい眼差しで見守っておられる保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。時には衝突し、時には励まし、ともに悩み喜び合ったことを思うと、今日の喜びは、いかばかりかとお察しいたします。心身ともに立派に成長されましたお子様のご卒業を心よりお慶び申し上げます。併せて、これまで本校教育にご理解ご協力くださいましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、本日、この学舎を巣立ち行く皆さん、そして創立120周年を迎える記念の年の卒業となる皆さん、皆さんは平成26年4月、希望に胸ふくらませて本校の校門をくぐりました。以来、「自主・協同・責任」の校訓のもと、勉学に部活動に委員会活動に、青春のエネルギーを燃焼させ、輝かしい学校生活を築き上げました。皆さんの健闘に心から賞賛の拍手を送ります。

私が本校に着任したのは2年前でした。この2年間、皆さんからは、たくさんの感動をいただきました。一高祭では、1年も前から準備を始める名物の入場ゲート、心を一つにして歌った合唱祭、各クラスや各文化部、工夫を凝らした展示や発表、いずれも皆さんの情熱がほとばしっていました。一高オリンピックでは、どの種目も全力で戦い全力で応援するクラスの団結力、思う存分見せてもらいました。また、歩く会では、八郷からの30キロ近い行程を完歩する姿に、頼もしさを感じました。

ここで、皆さんに感謝したいことがあります。SGHの1期生である皆さんが積極果敢に課題研究に取り組んでくれたお陰で、本校のSGH活動は文科省から高い評価を得ることができました。また、皆さんが2年生の時、志願倍率を上げるために中学生説明会を自分たちに任せてほしいと申し出てくれました。結果、1.55倍という高い倍率となりました。皆さんは様々なことにチャレンジしてくれました。また部活動でも全国大会に出場するなど大きな活躍を見せてくれました。そして、いつも明るく元気に挨拶をしてくれました。皆さんの活躍のお陰で、今、一高は活気づいています。

皆さんの一高での様々な活動は、いずれも情感あふれる青春のよき思い出として、いつまでも心の中で永く生き続けるものと思います。他方、皆さんの過ごした3年間、楽しいことばかりではなく、辛いこと苦しいこともあったかと思えます。しかし、同じ時間・同じ空間で、同じ体験を共有した仲間との絆は、今後の人生を歩む上で、大きな拠り所になっていくものと確信しています。

明日からは、一人一人新しい歩みが始まります。未来が皆さんを待ち受けています。しかし、皆さんが漕ぎ出す大海原は、決して静かな凧ばかりではありません。今、世界情勢は英国のEU離脱や米国のトランプ大統領誕生など大きく動いています。わが国ではグローバル化の進展、人工知能の飛躍的な進化、そして少子高齢化など、社会が加速度的に変化しています。このような時代だからこそ、社会は若さと可能性を持つ皆さんに大きな期待を寄せています。そこで、皆さんにこれからの活躍を期待して、私が日頃から校長講話などを通してお願いしてきたことを、再度お願いして餞の言葉といたします。

1つ目は、「高い『志』」です。

私が着任してすぐの始業式、幕末の志士・吉田松陰先生の言葉、「志を立てて、もって万事の源となす」を紹介して、志を立てることがすべての出発点、高い志を持ってほしいとお願いしました。皆さんは、すでに自分の志を持ち、力強く歩み出していることと思えますが、時には志が萎むこともあるかもしれません。

そこで、さらに加えて、「思うは招く」の言葉を皆さんに贈ります。何年前、従業員18人の北海道の小さな町工場が商業用ロケットの打ち上げに成功するという快挙がありました。この町工場の社長・植松努さんは、小さい頃からロケットを飛ばすという夢がありましたが、金も技術もないのに絶対無理と言われ続けました。ところが、母親から学んだ言葉、「思うは招く」を胸に夢を追いかけ、ついにNASAやJAXAも注目する程の技術開発を為し遂げます。昨年、私はこの植松さんのご講演を拝聴し深く感動しました。皆さんには、是非、自分の夢や目標を持ち続けてほしいと願っています。夢があれば必ず実現できます。夢がなければ何も始まりません。「どうせ無理」と始めから諦めないでください。

中学校の卒業文集に、「天才は生まれつきです。もうなれません。努力で天才に勝ちます」と書いた人がいます。稀勢の里関です。その横綱昇進は、私たちに勇気と希望を与えてくれました。コツコツと努力を積み重ねれば、必ずや報われます。「思うは招く」を胸に刻んで、夢や志を追いかけてほしいと思います。

2つ目は、ご存じ、「ATG」です。

これからの人生、時として辛いことや苦しいこともあるかもしれません。そんな時、ATG（明るく、楽しく、元気よく）で乗り越えていただきたいと思えます。明るい気持ちでいれば自然とプラス思考になります。自分から主体的にやれば楽しくなります。こうして自分の中に「何とかする力」、「元気」が湧いてきます。また、ATGでいれば、仲間が寄ってきます。仲間が助けてくれます。皆さんは、すでにATGを実践していると思えますが、今後さらにATGを心掛け、自分の道を力強く切り開いていただきたいと思えます。

結びとなりますが、3年間、一生懸命皆さん一人一人を励まし支援を惜しまなかった3学年の先生はじめ本校すべての教職員を代表して、前途洋々たる未来に旅立つ皆さんに幸多からんことをお祈りするとともに、本日、私たち教職員に、またもう一つの卒業式を迎える私に、幸せな気持ちを与えてくれた卒業生の皆さんに対して、心より御礼を申し上げまして式辞といたします。

卒業生の皆さん、ありがとう。

平成29年3月1日

茨城県立土浦第一高等学校長 横島 義昭